

平成30年度 第5回 行政改革推進委員会 会議録

開催日時	平成30年11月22日（木曜日） 開会・午後1時30分 閉会・午後3時00分
開催場所	上湧別コミュニティセンター 2階大会議室
出席委員等	北村会長、高桑職務代理者、菊地・小林・高橋・野田・宮澤・森委員
欠席委員等	松浦委員
職員	総務課：濱本課長、企画財政課：佐藤課長、大塚課長補佐、斉藤主幹、島田主任
次第	1. 開 会 2. あいさつ 3. 確認事項 （1）第4回 行政改革推進委員会会議録の確認について 4. 議 題 （1）平成30年度 行政評価・外部評価について 【答 申】 5. 閉 会
会議の公開	公開
傍聴人の数	0名
提出資料	（1）平成30年度 第5回 行政改革推進委員会議案 （2）平成30年度 第4回 行政改革推進委員会会議録 （3）平成30年度 湧別町行政評価外部評価報告書 （4）平成30年度 行政評価調書総括表（総計事業用） （5）平成30年度 行政評価調書総括表（補助事業用）

1. 開 会

佐藤課長が会議の開会を宣言し、委員の過半数以上が出席しているため、委員会の成立を確認した。

2. あいさつ

北村会長) お忙しい時間帯にご出席いただき、ありがとうございます。本日の会議で第5回目となり、今まで慎重に審議していただきました。外部評価の結果がまとめられ、委員のお手元に配付されていると思いますので、皆さんから忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

3. 確認事項

(1) 第4回 行政改革推進委員会会議録の確認について

北村会長から会議録の記載内容について、各委員に確認したところ修正がないことを確認した。

4. 議 題

(1) 平成30年度 行政評価・外部評価について

会議資料に基づき、斉藤主幹より説明する。外部評価の抽出事業22の事業について、評価の再確認を行った。 ※意見等のあった事業のみ記載

【意見及び質問】

■NO. 4 生活支援体制整備事業

北村会長) 我々としては「3の改善」と評価したわけですが、事務局の説明では「2の現状維持」に変更してほしいということですが。いかがでしょうか。

斉藤主幹) 報告書の説明でも申し上げましたが、事業の効果を検証することはもちろんですが、スタートして半年ということもあり、「2の現状維持」でお願いしたいという提案です。

⇒ 協議の結果、事務局の提案どおりに修正することとした。

■NO. 5 地域活動支援センターTONDEN 運営事業

○ TONDEN の運営が来年度からスムーズに移行ができるように、NPO 法人の設立が終わったと聞いていますが。

⇒ 立ち上げの準備をしていた NPO 法人の設立申請が認可を受けたということで、その法人が TONDEN を運営するかどうかは決定していません。

○ 現在は「さわやか」が運営しているわけで、来年4月以降の運営については町として判断していないと思うし、この委員会で決められる問題ではないと思います。

北村会長) 以上、22の事業について評価の結果を再確認していただきました。22の事業以外でも委員の皆さんが確認しておきたいことがあれば、伺いたいと思いますが。※意見なし

以上で、外部評価を終了いたします。

佐藤課長) 5回の会議に渡って、外部評価を行っていただきました。この後、皆さんから答申していただくよう、町長の日程を調整しておりましたが、残念ながら、他の公務により不在でございます。代わって、副町長が答申を受けさせていただきますので、若干、ご休憩をいただきたいと存じます。

北村会長) それでは、暫時休憩とします。

※休憩中、まちづくり懇談会の開催日程及び第5回の会議録の確認方法について説明し了解を得た。

【再開】

佐藤課長) これから北村会長と高桑職務代理者から答申を行っていただきたいと思いますが、出席委員の皆様もご起立ください。

※北村会長が答申書を朗読し、刈田副町長へ答申書を手交する。

北村会長) ただいま答申させていただきました。答申を受け、刈田副町長からご発言があるようですので、よろしくお願いいたします。

刈田副町長) ひと言、ご挨拶申し上げます。町長が上京中でございまして、代わって私が答申を受けさせていただきました。行政改革推進委員の皆様には、日頃より町政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。行政改革については、常日頃、自らが身を引き締めて、行政事務の効率化や財政の健全化に取り組むものでございますが、異なる目線で町民の皆さんにチェックをお願いするものです。毎年、行政改革推進実施計画の検証と、行政評価・外部評価を実施していただいているところでございます。本年度は5回に渡って慎重審議をいただいたところであり、審議の内容は会議録にて拝見させていただいております。本町も先月5日で、合併から10年目を迎えております。先般、平成31年度の予算編成方針を示したところで、職員に対して予算編成作業を指示したところであり、委員会での議論については、十分に予算へ反映して参りたいと考えております。今後は交付税の段階的な縮減によって、財政状況はますます厳しくなると思っております。そのようなで

もメリハリをつけた予算編成を行っていかなくてはならないと思っております。町民の皆さんとともに知恵を絞り、更なる町民福祉の向上に取り組んでいかなくてはならないと考えているところでございます。どうか、今後におきましても、町政運営にご協力をいただきますことをお願い申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。今後とも、よろしくお願いいたします。

北村会長) 少しの時間、意見交換を行いたいと思いますが、行政改革、行政評価、その他全般に渡って、何かございませんか。

【意見交換】

- 先日の町民大学の会場で、来場者に対して湧別高校の生徒がクラウドファンディングの取り組みを宣伝していました。もう少しうまくこのような取り組みがうまく宣伝できないのかと思います。生徒たちの活動をよく聞いてみると、生徒たちが自ら動き出して活動の資金を募るということで、自ら動くということはありません。思うので、このような会議を含めてこのような活動などを後押しできればと思います。生徒たちが自ら行動を起こすことは大変なことなので、この取り組みが湧別高校のPRにつながればと思います。
- 先日、クラウドファンディングの目標額を超えたようです。町も湧別高校の魅力化、教育委員会も存続対策に取り組んでいます。このような取り組みは広報やかわらばんにも掲載していますし、町民大学実行委員会などの団体にも協力いただいています。本年度は湧別高校がクラウドファンディングに取り組んでいます。去年は漁協さんでも取り組んでいます。このような取り組みには町としても全面的に協力していきたいと思っています。
- 町民大学の講師が湧別高校の取り組みを知って、その活動をしているだけで志望する学校に合格できると話されていました。良い発想を持つ若者がこれからの時代必要とも話されていましたし、そのような活動をする生徒が湧別高校にいることを町民が理解して、協力する形にならないと、町がいくら大きなお金を掛けても子どもたちが湧別高校を選ぶことにつながらないと思います。大人たちがもっと知恵とお金を出さなくてはならないと思います。
- 町長と生徒会との意見交換会で、高校生が自分たちで何が出来るのかを考え、それに対して町が支援して、実現できたこともあります。町の支援では色々な制約があるので、自分たちで自由に使えるお金を集める方法として、この取り組みが始まったようです。このほか、昨年度は高校生自らが町内の中学校に出向いて、湧別高校と他の高校の比較を説明して、湧別高校を選んでほしいとPRを行っています。
- デジタルデバイドの老人の方々は、インスタなどにアクセスできない。そのような方々に対し、町として何か出来ないのでしょうか。スマホや携帯を持っていない方々にお年寄り向けのスマホ教室とか防災教室をやらないと、いくらJアラート

を流しても受け取ることが出来ない状況です。

○ 防災情報の伝達は重要です。担当課としても色々と考えていますが、事業費が大きいため、どうすべきか検討しているところです。

○ 先日、町民大学の講師に、0～4歳の人口が増えるか増えないかの基準をどう考えるかと質問したところ、その方は「環境」であると答えてくれ、環境を良くすれば、人口が維持できるのかと思いました。環境ってどういうことか考えたときに、町に若者が帰ってくる、若しくは来てくれる。そういった環境を作ることが大事だろうと思います。その環境をつくるには誰かが何かをしなくてはならないと思うし、町や農協などの横のつながりがないと出来ない。今はそれが足りないのだろうと思います。

○我々の本業は漁業生産であり、その漁業生産でどうやって地域に環境整備なりで貢献していくか、無理して社会貢献といって違う分野のことをするのはなくて、漁業という我々の活動の中で、社会にどう雇用を生むかなどどう関与できるのか、テーマであると思います。漁業人口を守っていかなくてはならないし、組合員、生産者がいないと生産額は落ちていくし、そうなれば組織も守れないし、地域も守れないと思います。

5. 閉 会

北村会長) いろいろと貴重なご意見を伺ってきましたが、この辺で会議を閉じたいと思います。全5回の会議で皆さんに慎重審議をしていただき、推進委員会として意見をまとめたところです。以上で、本年度の会議を終了いたします。